

リストNo		18-061	施設コード		00675	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		旧龍山北小学校				
所在(町名・番地)		天竜区龍山町瀬尻926-37				
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他
所管課	本庁	天竜区・区振興課			課長名	森田 修
	施設	天竜区・区振興課			課長名	森田 修
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		書籍等の保管(廃校舎の活用)				
主な利用者		市職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	1,317.00		土地情報	土地面積	6,933.01
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	6,933.01
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1956/1/1				
	経過年数(主要建物)	68			代表地目(現況地目)	非課税地
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					

				
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	0	0
	収入計(A)	3	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	95	165	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	38	43	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	133	208	0
行政コスト(B-A)		130	208	0
収支前年比		62.50	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B・S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	139	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	02-008	龍山明窓寮教職員住宅	地域		0.1	
	14-130	佐久間第2分団瀬尻車庫	コミュニティ		0.1	
	03-019	龍山森林文化会館	地域		0.3	
	04-059	瀬尻不動の滝遊歩道	小規模等		0.6	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-061	施設コード	00675	所管課	本庁	天竜区・区振興課		
	施設名	旧龍山北小学校			所管課	施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		書籍等の保管(廃校舎の活用)							
		主な業務内容	書籍等保管場所						
		主な利用者	市職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	減少していない						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	書籍等の保管場所は継続して必要						
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
				2021	—	—	—		
		事業②			2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③				2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④				2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	廃校舎を活用しており、現状重大な欠陥は見受けられないものの、築60年以上を経過しているため、今後は老朽化に伴い不具合箇所の発生が懸念される。							
	対応策	今後も維持管理をしながら継続使用していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	99	158	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別 分類毎の 方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めました。が、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	18-062	施設コード	04261
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	旧滝沢小学校		
所在(町名・番地)	浜名区滝沢町		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	—	課長名 —
	施設	浜名区・北行政センター	課長名 堤 信弘
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	廃校舎の利活用		
主な利用者	浜松市		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	1,702.00	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	4	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1979/12/1	
	経過年数(主要建物)	44	
用途地域		市街化調整区域	土地面積 6,073.00
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円) 計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	55	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	55	0
行政コスト(B-A)		0	55	0
収支前年比		0.00	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		8,151	8,151	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9,926	11,856	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
同分類	No	施設名	圏域種別 距離(km)
その他の分類	04-058	滝沢キャンプ場トイレ	小規模等 1.6
	14-076	引佐第3分団川名	コミュニティ 2.0



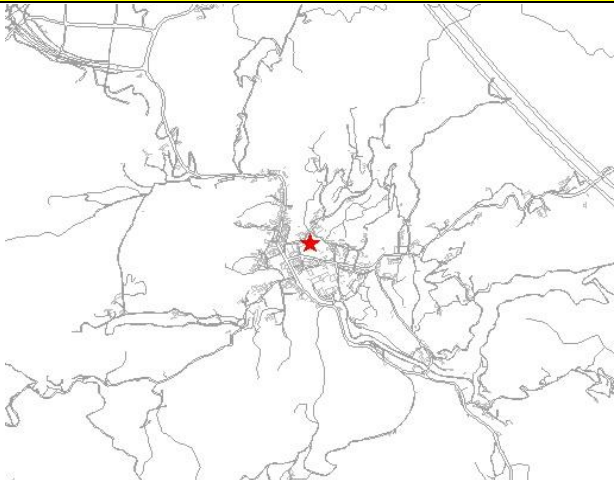
基本情報	リストNo	18-062	施設コード	04261	所管課	本庁	—
	施設名	旧滝沢小学校			施設	浜南区・北行政センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	将来を見据えた持続可能な財政運営の維持					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		廃校舎の利活用					
		主な業務内容	史料及び資材等の保管庫、緊急避難所の確保				
		主な利用者	浜松市				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	廃校となった当初より、ニーズ(利用)が続いている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後人口減少等の要因により、減少可能性あり。				
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
				2022	—	—	—
				2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
				2022	—	—	—
				2021	—	—	—
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
		2021	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設は築40年以上経過しており、施設の老朽化が進行している。さらに平成23年3月廃校となって以降は、他施設に比べ施設の維持管理水準が低い状態が10年以上続いており、付属施設の体育館では、窓の破損や雨漏り等の被害あり。また、施設周辺が土砂災害警戒区域に設定されており、急傾斜地に施設があることから、有事の際の避難所としての機能維持に懸念がある。					
	対応策	庁内利活用希望の継続および一般向けの財産貸付等で財産利活用を推進しながら、社会ニーズや建物の経年劣化状態等を鑑み、既貸付団体との調整、修繕および解体等の対応を随時執行する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	32	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	避難所として指定されている体育館については、特に適切な維持管理に努める。また施設の有効活用について、検討していく。								

リストNo		18-063		施設コード		04395	
利用用途別分類（施設分類）		書庫・倉庫					
施設名		旧伊平小学校					
所在（町名・番地）		浜名区引佐町伊平580-2					
利用者の圏域別分類等		地域			中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他	
所管課	本庁	—			課長名		—
	施設	浜名区・北行政センター			課長名		堤 信弘
設置根拠（法）		—					
条例		—					
設置目的		廃校舎の利活用					
主な利用者		浜松市、地域活動団体					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	1,389.00		土地情報	土地面積	8,093.46	
	構造（主要建物）	鉄筋コンクリート造					
	地上階数（主要建物）	3					
	耐震性能（Is値）（主要建物）	—			うち所有面積	8,093.46	
	耐震工事（主要建物）	－					
	建築年月日（主要建物）	1959/3/1				うち借地面積	0.00
	経過年数（主要建物）	65			代表地目（現況地目）		学校用地
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費（千円）		土地取得事業費（千円）		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	87	59	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	87	59	0
行政コスト(B-A)		87	59	0
収支前年比		147.46	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		5,145	5,145	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	75,871	21,625	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
その他の分類	08-046	伊平幼稚園			生活	0.1
	22-005	引佐伊平診療所			生活	0.1
	14-075	引佐第3分団伊平			コミュニティ	0.1
	13-048	伊平団地特定公共賃貸住宅			地域	0.4
	25-004	伊平ポンプ場			—	0.4
	25-017	仏坂配水場			—	1.1
	14-022	北消防署引佐出張所			地域	1.3
	25-012	川合渚ポンプ場			—	1.7
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-063	施設コード	04395	所管課	本庁	—
	施設名	旧伊平小学校			施設	浜南区・北行政センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	将来を見据えた持続可能な財政運営の維持					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		廃校舎の利活用					
		主な業務内容	書籍等の保管庫、地域団体の活動場所				
		主な利用者	浜松市、地域活動団体				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	廃校となった当初より、ニーズ(利用)が続いている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後人口減少等の要因により、減少の可能性あり。					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設は築60年以上経過しており、老朽化が進行している。平成24年3月に廃校となって以降は、他施設に比べ施設の維持管理水準が低い状態が10年以上続いている。また、施設周辺が土砂災害警戒区域に設定されており、有事等の際に土石流等の施設被害が想定される。					
	対応策	・庁内利活用希望の継続及び一般向けの財産貸付(公募)等で財産利活用を推進しながら、社会ニーズや建物の経年劣化状態を鑑み、既貸付団体との調整、修繕及び解体等の対応を随時執行する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	63	42	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分離の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	避難所として指定されている体育館については、特に適切な維持管理に努める。また施設の有効活用について検討していく。								

リストNo		18-064	施設コード	04637	
利利用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		旧北庄内小学校			
所在(町名・番地)		中央区白洲町295-1			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	—		課長名	—
	施設	中央区・西行政センター		課長名	渡辺 貴史
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		災害時用防災資機材等の保管庫			
主な利用者		市職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	3,630.00	土地情報	土地面積	25,255.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	25,255.00
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	1.25			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1969/3/1			
	経過年数(主要建物)	55		代表地目(現況地目)	学校用地
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



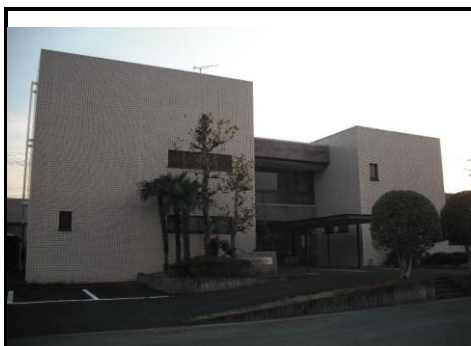
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	198	198	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	198	198	0
行政コスト(B-A)		198	198	0
収支前年比		100.00	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		1,353	1,353	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	174,983	7,963	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	14-052	浜松第39分団	コミュニティ		0.2	
	25-049	上下水道部西営業所			0.3	
	08-037	北庄内幼稚園	生活		0.3	
	04-004	動物園	広域		0.7	
	09-012	動物愛護教育センター	市域		0.7	
	04-005	フラワーパーク	広域		0.8	
	03-096	平松会館	コミュニティ		0.9	
	04-019	館山寺ターミナル事務所	地域		1.0	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-064	施設コード	04637	所管課	本庁	—	
	施設名	旧北庄内小学校			施設	中央区・西行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	—						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		災害時用防災資機材等の保管庫						
		主な業務内容	防災用備品及び備蓄品の保管庫					
		主な利用者	市職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	—					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—						
	特記事項	—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—	—
			—	2022	—	—	—	—
			—	2021	—	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—	—
—			2022	—	—	—	—	
—			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	
	—	2022	—	—	—	—		
	—	2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	校舎は、危機管理課が、災害時用防災資機材等の保管場所として使用している。						
	対応策	全体として、かなり老朽化が進んでいるが、校舎部分については、引き続き適正な管理に努める。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	55	55	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比等による評価					(縦軸)前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
		利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し		—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	—								

リストNo		18-065	施設コード		04793	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		旧三ヶ日保健センター別館				
所在(町名・番地)		浜名区三ヶ日町三ヶ日500-20				
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他
所管課	本庁	—			課長名	—
	施設	浜名区・三ヶ日支所			課長名	長坂 恵子
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		公文書書庫として利用				
主な利用者		市役所等の利用希望課				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	861.37		土地情報	土地面積	1,850.22
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	1,850.22
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1984/3/26				
	経過年数(主要建物)	40			代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		第二種住居地域				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	286	286	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	43	52	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	329	338	0
	行政コスト(B-A)	329	338	0
収支前年比		97.34	—	—
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		3,094	3,094	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	83,969	76,732	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	18-006	三ヶ日資材倉庫	地域	1.2		
その他の分類	01-018	三ヶ日支所	地域	0.1		
	14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.1		
	03-013	三ヶ日文化ホール	地域	0.2		
	14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.3		
	26-019	三ヶ日浄化センター	—	0.3		
	05-042	三ヶ日運動場管理棟、トイレ	小規模等	0.4		
	15-130	三ヶ日中学校	生活	0.4		
	10-015	三ヶ日総合福祉センター	地域	0.5		
施設周辺地図情報						
						

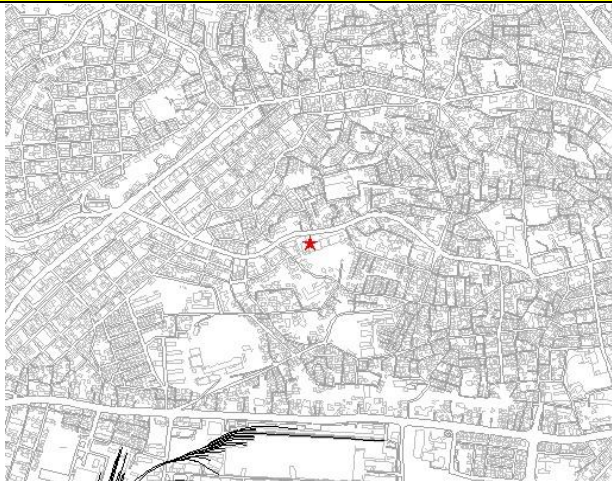
基本情報	リストNo	18-065	施設コード	04793	所管課	本庁	—
	施設名	旧三ヶ日保健センター別館			施設	浜南区・三ヶ日支所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	—					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		公文書書庫として利用					
		主な業務内容	公文書の保管				
		主な利用者	市役所等の利用希望課				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	継続して書庫として利用しており、ニーズは減少していない。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	新たな公文書書庫が出来ない限りは継続して利用が見込まれる。					
	特記事項	過去に市民から解体し駐車場として整備するよう要望書が提出されている。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	今のところ公文書書庫としては問題ないが、周辺施設と同様に老朽化している。					
	対応策	周辺施設の関係部局と施設のあり方を検討していく必要がある。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	382	392	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分棟毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	—								

リストNo		18-066	施設コード	04989	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		旧保健所			
所在(町名・番地)		中央区鴨江二丁目1158-133			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		普通財産		普通財産	
財産区分		普通財産		その他	
所管課	本庁	健康福祉部保健所保健総務課		課長名	密岡 宏行
	施設	健康福祉部保健所保健総務課		課長名	密岡 宏行
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		文書・選挙資材等の保管			
主な利用者		職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	2,939.14	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	3			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-			
	建築年月日(主要建物)	1975/10/15			
	経過年数(主要建物)	48		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		第一種中高層住居専用地域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B－A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		21,040	21,040	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	42,081	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	09-001	保健所	市域		0.0	
	09-002	口腔保健医療センター	市域		0.0	
	11-001	子どものこころの診療所	市域		0.0	
	08-002	鴨江保育園	生活		0.2	
	15-104	西部中学校	生活		0.4	
	14-005	中消防署鴨江出張所・浜松第16分団	地域		0.4	
	01-003	鴨江分庁舎	市域		0.4	
	15-014	鴨江小学校	生活		0.4	
施設周辺地図情報						
						

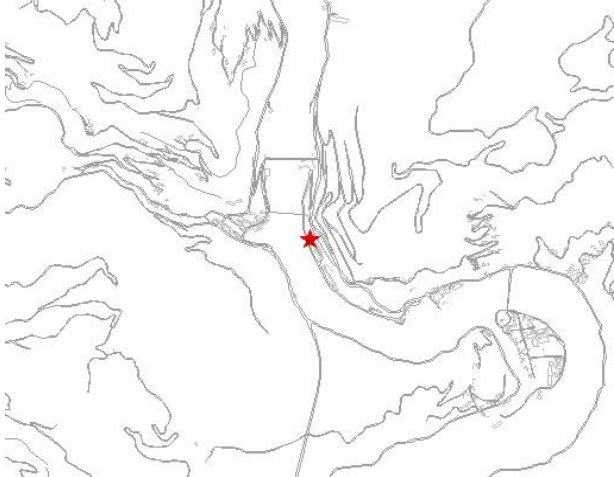
基本情報	リストNo	18-066	施設コード	04989	所管課	本庁	健康福祉部保健所保健総務課		
	施設名	旧保健所			所管課	施設	健康福祉部保健所保健総務課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		文書・選挙資材等の保管							
		主な業務内容	文書・資材の保管						
		主な利用者	職員						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	減少していない						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	文書・資材保管場所は継続して必要						
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—	2023	—	—	—	
				—	2022	—	—	—	
		—		2021	—	—	—		
		事業②	—	2023	—	—	—		
—			2022	—	—	—			
—			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建物・設備が老朽化し、想定外の修繕や工事に伴う維持管理コストが増加している。また、耐震性能ランクⅢ(IS値0.4)であり、耐震の観点からも施設の見直しが(解体)急がれる。							
		施設見直し(解体)に向け庁内調整を行う。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	○	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分棟毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	施設見直し(解体)に向け庁内調整を行う。								

リストNo		18-067	施設コード	05009	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		旧中島車庫			
所在(町名・番地)		天竜区龍山町戸倉435-5			
利用者の圏域別分類等		小規模等		中山間地域	
財産区分		普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	—		課長名	—
	施設	天竜区・龍山支所		課長名	藤澤 典広
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		作業用器具等を保管するための倉庫として使用しているため。			
主な利用者		龍山支所職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	119.52	土地情報	土地面積	201.74
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	201.74
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2000/3/30			
	経過年数(主要建物)	24		代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	3	3	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	3	3	0
	行政コスト(B-A)	3	3	0
収支前年比		100.00	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1	0	—	

主 な 改 修 履 歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-074	旧龍山第一小学校	地域		0.4	
	18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域		0.7	
そ の 他 の 分 類	22-010	龍山歯科診療所	生活		0.3	
	14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ		0.3	
	01-026	龍山支所	地域		0.3	
	05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等		0.6	
	05-035	龍山健康増進センター	生活		0.8	
	09-011	龍山保健センター	地域		1.1	
	13-088	戸倉団地特定公共賃貸住宅	地域		1.4	
	13-089	戸倉団地定住促進住宅	地域		1.4	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-067	施設コード	05009	所管課	本庁	—
	施設名	旧中島車庫			施設	天竜区・龍山支所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	—					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		作業用器具等を保管するための倉庫として使用しているため。					
		主な業務内容	作業用器具・機器・資材の保管				
		主な利用者	龍山支所職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		継続して器具庫として使用しており、ニーズの減少はない。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も器具庫として必要である。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	ハード面は特に問題ない。今後も器具庫として利用を継続予定。					
	対応策	器具庫として今後も適切な維持管理に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	25	25	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設等への統合や複合化を検討する。								

リストNo		18-068		施設コード		05011	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫					
施設名		旧下阿多古中学校(器具庫)					
所在(町名・番地)		天竜区上野948					
利用者の圏域別分類等		小規模等			中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他	
所管課	本庁	—			課長名		—
	施設	天竜区・区振興課			課長名		森田 修
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		校外適応指導教室(教育支援課所管)におけるスポーツ器具等保管場所					
主な利用者		校外適応指導教室の教員・生徒					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	26.00		土地情報	土地面積		0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1					
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新					
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00	
	建築年月日(主要建物)	1994/2/1					
	経過年数(主要建物)	30					
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		53	53	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	17	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	16-008	ほっとエリア阿多古活動拠点施設	市域		0.0	
	25-045	旧両島簡易水道	—		0.2	
	14-111	天竜第8分団上野	コミュニティ		0.2	
	03-061	下阿多古ふれあいセンター	生活		0.5	
	08-076	下阿多古幼稚園	生活		1.3	
	15-087	下阿多古小学校	生活		1.3	
	14-114	天竜第8分団両島	コミュニティ		1.4	
	26-029	両島農業集落排水処理施設	—		1.5	
施設周辺地図情報						

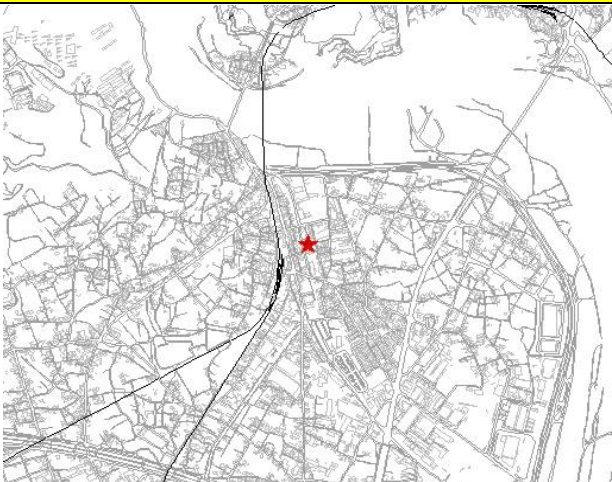
基本情報	リストNo	18-068	施設コード	05011	所管課	本庁	—
	施設名	旧下阿多古中学校(器具庫)			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		校外適応指導教室(教育支援課所管)におけるスポーツ器具等保管場所					
		主な業務内容	器具保管場所				
		主な利用者	校外適応指導教室の教員・生徒				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		減少していない			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		校外適応指導教室でのスポーツ器具等の保管に必要				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	廃校の器具庫を利用しており築後30年が経過しているが、校外適応指導教室での使用が続く間は、今後も維持管理をしながら継続使用していく。					
	対応策	維持管理業務を継続して行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。								

リストNo		18-069	施設コード	05366		
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		旧鹿島保育園				
所在(町名・番地)		天竜区二俣町鹿島529				
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他
所管課	本庁	こども家庭部幼保運営課			課長名	大橋 泰仁
	施設	こども家庭部幼保運営課			課長名	大橋 泰仁
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		幼児教育・保育施設に必要な備品等を保管する。				
主な利用者		職員				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	565.28	土 地 情 報	土地面積	2,348.63	
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	2,348.63	
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1982/1/1				
	経過年数(主要建物)	42				うち借地面積
				代表地目(現況地目)		宅地
用途地域		第二種住居地域				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費 (千円)	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	0	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	0	0	0
行政コスト（B－A）		0	0	0
収支前年比		—	—	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		730	988	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	83,451	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	07-066	天竜児童館	生活		0.1	
	15-144	清竜中学校	生活		0.2	
	14-095	天竜第3分団鹿島	コミュニティ		0.4	
	08-071	上島幼稚園	生活		0.7	
	04-044	田代家住宅	文化財		1.0	
	08-072	赤佐幼稚園	生活		1.2	
	17-011	鳥羽山公園	地域		1.2	
03-016	天竜壬生ホール	地域		1.3		
施設周辺地図情報						
						

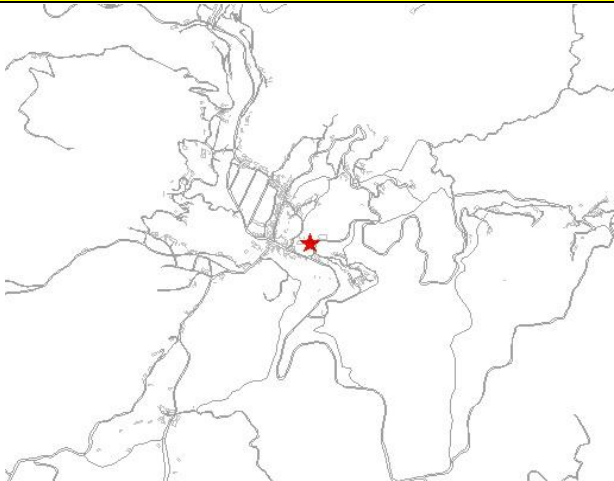
基本情報	リストNo	18-069	施設コード	05366	所管課	本庁	子ども家庭部幼保運営課
	施設名	旧鹿島保育園			所管課	施設	子ども家庭部幼保運営課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	幼児教育・保育施策の推進と施設の管理運営					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		幼児教育・保育施設に必要な備品等を保管する。					
		主な業務内容	大規模改修工事などに伴い、幼児教育・保育施設に必要な備品等を一時的に保管する。				
		主な利用者	職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	幼児教育・保育施設の大規模改修工事等が実施されており、必要性がある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	他の保管場所が確保できた場合は、必要性がなくなる可能性がある。					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化					
	対応策	他の保管場所が確保できた場合は、施設の解体を検討する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	○	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	—								

リストNo		18-070	施設コード		05748	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫				
施設名		浜川文化財収蔵庫				
所在(町名・番地)		浜名区引佐町浜川3373-1				
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域		
財産区分		普通財産		普通財産		その他
所管課	本庁	市民部文化財課			課長名	平田 隆
	施設	市民部文化財課			課長名	平田 隆
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		浜松市内の遺跡から出土した遺物や文化財の保管				
主な利用者		—				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	1,201.00		土 地 情 報	土地面積	1,347.50
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積	1,347.50
	地上階数(主要建物)	2				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1981/3/1				
	経過年数(主要建物)	43				
				代表地目(現況地目)	学校用地	
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費 (千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,378	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,647	5,838	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	22-007	引佐鎮玉診療所 渋川出張診療所	生活		0.2	
	14-080	引佐第4分団 渋川	コミュニティ		0.3	
	13-053	渋川団地	地域		0.4	
施設周辺地図情報						
						

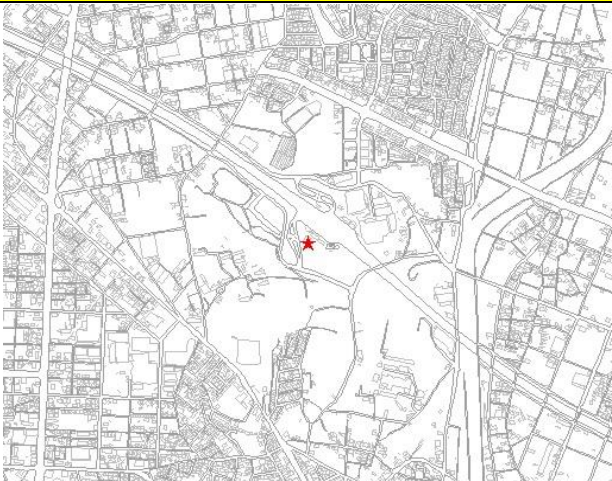
基本情報	リストNo	18-070	施設コード	05748	所管課	本庁	市民部文化財課		
	施設名	渋川文化財収蔵庫			施設	市民部文化財課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全活用							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		浜松市内の遺跡から出土した遺物や文化財の保管							
		主な業務内容	文化財収蔵業務						
		主な利用者	—						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	既存収蔵庫の収蔵可能性が残りわずかであるため、本収蔵庫は必要である。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も収蔵点数は増加していく。							
	特記事項	近い将来スペースが不足する。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
			事業①	2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
		事業②	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
事業③			2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
		事業④	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄			課題	渋川文化財収蔵庫を取得したことにより、当面の収蔵スペース不足は解消したが、出土品は発掘調査を実施することにより累積するため、いずれは収容容量は不足する。また、建物は築40年以上経過し、老朽化している箇所がみられる。					
	対応策	令和5年度に取得した渋川文化財収蔵庫を活用し、保管資料の収納計画(資料を重要度・活用頻度・材質でランク分け)を策定のうえ、資料の再配置を進めていく。建物の老朽化に対しては緊急性・必要性の高い箇所から修繕を行い、長寿命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。 特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。 水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。 さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	—							

リストNo		18-071	施設コード	05846	
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		有玉西町防災倉庫			
所在(町名・番地)		中央区有玉西町780-1			
利用者の圏域別分類等		地域		非中山間地域	
財産区分		普通財産		普通財産	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
	施設	危機管理監危機管理課		課長名	小林 正人
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管			
主な利用者		危機管理課職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	751.40	土地情報	土地面積	5,420.15
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	5,420.15
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1973/11/30			
	経過年数(主要建物)	50		代表地目(現況地目)	宅地
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	891	0	0
	収入計(A)	891	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	418	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	418	0	0
行政コスト(B-A)		-473	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	164,127	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	10-013	ふれあい交流センター萩原	地域	0.5		
	13-025	有玉台団地	地域	0.6		
	24-004	欠下排水機場	—	0.6		
	24-005	大菩薩揚水機場	—	0.7		
	14-011	東消防署有玉出張所	地域	1.1		
	13-054	初生団地	地域	1.1		
	13-012	萩丘団地	地域	1.1		
07-080	ありたま・ありたま第2放課後児童会	生活	1.2			
施設周辺地図情報						
						

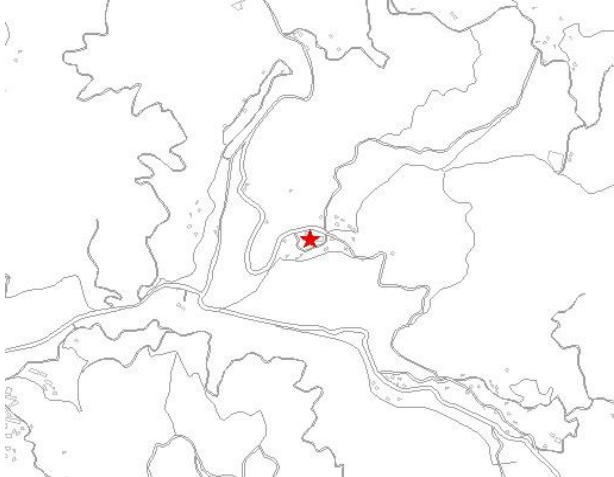
基本情報	リストNo	18-071	施設コード	05846	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	有玉西町防災倉庫			所管課	施設	危機管理監危機管理課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		広域防災倉庫として、半径4km範囲程度の避難所の防災倉庫に入りきらない資機材や備蓄品の保管					
		主な業務内容	防災資機材、非常食等の搬入、搬出及び点検等				
		主な利用者	危機管理課職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	東日本大震災・能登半島地震等の発生により防災意識は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	南海トラフ巨大地震の発生が予想される					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
				2022	—	—	—
				2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	消防法の規定により、2階部分が使用できないなど一定の制約が存在する					
	対応策	必要な消防設備の設置を検討していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-629	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo		18-072	施設コード		04259		
利用用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫					
施設名		旧久留女木小学校(校舎)					
所在(町名・番地)		浜名区引佐町西久留女木					
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域			
財産区分		普通財産		普通財産		その他	
所管課	本庁	—			課長名	—	
	施設	浜名区・北行政センター			課長名	堤 信弘	
設置根拠(法)		—					
条例		—					
設置目的		廃校舎の利活用					
主な利用者		浜松市					
運営形態		直営					
指定管理または 包括管理委託等の期間		～					
管理者名		—					
開館時間		—					
建物情報	総延床面積	704.00		土地情報	土地面積		11,465.46
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			うち所有面積		11,465.46
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積		0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			代表地目(現況地目)		学校用地
	耐震工事(主要建物)	-					
	建築年月日(主要建物)	1978/2/1					
	経過年数(主要建物)	46					
用途地域		都市計画区域外					
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—	
財源	国・県	—		—		—	
	寄付金	—		—		—	
	その他	—		—		—	
	市債	—		—		—	
	一般財源	—		—		—	
特記事項	—						



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	283	0	0
	維持補修費（修繕費）	0	0	0
	物件費（光熱水費）	0	0	0
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	283	0	0
	行政コスト（B－A）	283	0	0
収支前年比		—	—	—
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		2,062	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	45,736	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その 他 の 分 類	25-015	中代中継ポンプ場	—		1.5	
	25-014	引佐中継ポンプ場	—		1.8	
施設周辺地図情報						
						

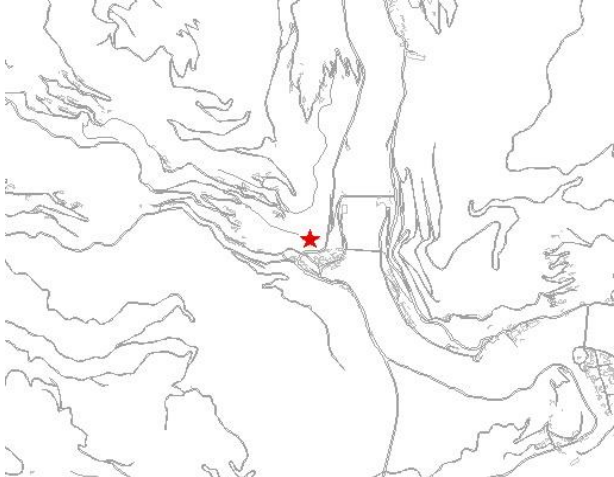
基本情報	リストNo	18-072	施設コード	04259	所管課	本庁	—
	施設名	旧久留女木小学校(校舎)			施設	浜南区・北行政センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	将来を見据えた持続可能な財政運営の維持					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		廃校舎の利活用					
		主な業務内容	史料及び資材等の保管庫				
		主な利用者	浜松市				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	廃校となった当初より、ニーズ(利用)が続いている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後人口減少等の要因により、減少の可能性あり。					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況		
					のべ募集人員	参加者数	
			事業①	2023	—	—	—
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			事業②	2023	—	—	—
2022			—	—	—		
2021			—	—	—		
事業③			2023	—	—	—	
2022			—	—	—		
2021			—	—	—		
事業④			2023	—	—	—	
2022	—	—	—				
2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設は築40年以上経過しており、老朽化が進行している。平成22年3月に廃校となって以降は、他施設に比べ施設の維持管理水準が低い状態が10年以上続いている。また、施設周辺が土砂災害警戒区域に設定されており、有事等の際に土石流等の施設被害が想定される。					
	対応策	庁内利活用希望の継続および一般向けの財産貸付等で財産利活用を推進しながら、社会ニーズや建物の経年劣化状態等を鑑み、既貸付団体との調整、修繕および解体等の対応を随時執行する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	402	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分種毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	—	—						

リストNo		18-074	施設コード	04991	
利用途別分類(施設分類)		書庫・倉庫			
施設名		旧龍山第一小学校			
所在(町名・番地)		天竜区龍山町大嶺565-5			
利用者の圏域別分類等		地域		中山間地域	
財産区分		普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	—		課長名	—
	施設	天竜区・区振興課		課長名	森田 修
設置根拠(法)		—			
条例		—			
設置目的		書籍等の保管(廃校舎の活用)			
主な利用者		市職員			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	1,802.00	土地情報	土地面積	3,930.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,788.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	142.00
	建築年月日(主要建物)	1957/3/1			
	経過年数(主要建物)	67		代表地目(現況地目)	非課税地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	151	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	151	0	0
	行政コスト(B－A)	151	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,082	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,515	8,234	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域		1.2	
その他の分類	01-026	龍山支所	地域		0.1	
	22-010	龍山歯科診療所	生活		0.2	
	14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ		0.5	
	05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等		1.0	
	09-011	龍山保健センター	地域		1.1	
	05-035	龍山健康増進センター	生活		1.2	
	13-079	雲折団地	地域		1.3	
	13-088	戸倉団地特定公共賃貸住宅	地域		1.8	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	18-074	施設コード	04991	所管課	本庁	—
	施設名	旧龍山第一小学校			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	ファシリティマネジメントの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		書籍等の保管(廃校舎の活用)					
		主な業務内容	書籍等保管場所				
		主な利用者	市職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	減少していない				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	書籍等の保管場所は継続して必要				
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
			—	2022	—	—	—
			—	2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
—			2022	—	—	—	
—			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	廃校舎を活用しており、築60年以上を経過し、雨漏りが顕著である。今後は老朽化に伴い更なる不具合箇所の発生が懸念される。					
	対応策	1回/月現状確認を行っている。今後も維持管理をしながら継続使用していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	84	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	当面適切な維持管理に努める。								